



天草

市政だより

日本の宝島 “天草”の創造を目ざして！

平成23年

1.1

No.114



師走の街に響く もちつきの音

12月12日、本渡勤労青少年ホーム・だるまの会が、「歳末助け合いもちつき祭り」を中央新町の本渡中央銀天街・スマイルパークで開きました。だるまの会は、同ホーム利用ユーザーで組織する会で、利用者間の交流やボランティア活動などを行っています。会場では、昔ながらの“きね”と“うす”を使ったもちつきを実施。師走の銀天街に響くもちつきの音が道行く人を引き付け、中にはもちつきを体験する人もいました。つきあがったもちは即時販売され、益金は歳末助け合い募金へ寄付されました。

主な内容

- 新年あいさつ 2～3
- 卯（うさぎ）年生まれ大集合！
新年の抱負 … 4～5
- ふるさと応援寄附金 6
- 宝島のわだい 7～11
- みんなの広場など 12～15

迎春



一次産業の振興を核に 活性化をめざす

天草市長
安田 公寛

新年おめでとうございます。
市民の皆様には、輝かしい
新春をお迎えのことと、心か
らお喜び申し上げます。
さて、私も昨年の4月から
2期目の市政を担当させてい
ただき、天草市も誕生後5年
目を迎えておりますが、引き
続き『日本の宝島』『天草』の
創造』の基本理念のもと、『誰
もが誇りに思い、安心して心
豊かに暮らせる宝の島』づく
りに、全力をあげて取り組ん
でいるところでございます。
そのためには、天草の基幹
産業である第一次産業を核に

して、第二次・第三次産業の
振興に結びつけながら、各産
業間の連携による、販売の促
進やブランド化の確立など
で、『天草型六次産業の創出』
を図りたいと考えております。
また、今年2月ごろには河
浦町崎津の漁村景観が、『国
の重要な文化的景観』に選定さ
れる見込みとなりました。
私は、これらの取り組みや
地域の特性をいかし、地場産
業の振興や雇用機会の創出に
つなげながら、観光の振興、
交流人口の増加を中心にした
地域づくりを推進すること
で、未来を担う子どもたちに、
豊かで住みやすい天草を引き
継いでいかなければならない
と思っています。
天草市としての一体感を醸
成し、市民と行政の協働によ
る『日本の宝島』の実現に向
け、さらに全力を傾注してま
いりますので、なおいつそ
うのご支援、ご協力をお願い申
し上げますとともに、新しい
年が、皆様にとりまして希望
に満ちた幸多い年となります
ようご祈念申し上げ、年頭の
ごあいさつといたします。

市民と行政

ともに力を合わせて

天草市議会議長
本田 武志

明けましておめでとうございます。
希望に満ちた輝かしい平成
23年の新春を、ご家族おそろ
いで健やかにお迎えのことと
心からお喜び申し上げますと
ともに、平素の深いご理解と
温かいご支援に対し、心から
お礼を申し上げます。
さて、わが国では、著しい
少子高齢化を背景に、本格的
な人口減少社会に入ったと報
じられておりますが、昨今の
労働・雇用環境の悪化、また、
価値観の多様化などから、個
人と社会とのきずなが絶たれ



る「無縁化」があわせて問題
化しております。
ここ天草市においても、長
引く不況を始め、人口減少、
少子高齢化がともに深刻な状
況下にあつて、高齢者の独居
世帯が増加し、地域コミュニ
ティの崩壊が危ぶまれている
ところでございます。
そこで、地域における支え
あいを充実させるためには、
市民と行政、市民相互が交流
を深め、お互いの連帯感や信
頼関係を築き、市民と行政と
の協働によるまちづくりを推
進していかなければなりません。
私たち市議会といたしまし
ても、私たちが住む地域、も
って天草市を住みよい社会に
するため、今何をすべきか、
何が必要なのか、常に問題意
識を持ち、誠心誠意、全力を
傾注する覚悟でございます。
どうか今後ともさらなるご
理解と、ご支援ご協力の程を
お願い申し上げますととも
に、皆様にとりまして本年が
実り多い年でありますよう、
心からお祈り申し上げ、新年
のごあいさつといたします。

有明町・老岳山頂からの眺望（12月5日撮影）

市民の皆様
あけまして
おめでとうございます



天草市
市長 安田 公寛
副市長 古田 勝人
天草市議会
議長 本田 武志
副議長 松江 雅輝

議員
池田 次人
北野 鋼一
濱崎 昭臣
江浦 政巳
吉川 徳澄
大塚 基生
楠本 千秋
中村 五木
平山 泰司
脇島 義純
池田 裕之
田中 茂
赤木 武男
鎗光 秀孝
中村 三千人
船辺 修
蓮池 良正
若山 敬介
勝木 幸生
宮下 幸一郎
中尾 友二
古賀 源一郎
浜崎 義昭
黒田 忠広
奈良崎 利幸
福嶋 啓子
濱洲 大心
鶴戸 継啓



卯
平成11年生まれ

原田 史也さん（倉岳町浦）
今年は中学生。今までより勉強が難しくなります。部活もがんばりたいので、両立できるように時間を大切に過ごしていきたいです。



卯
昭和14年生まれ

一明 ヨウ子さん（天草町福連木）
夫の助手として、イノシシの解体や料理を手伝っています。夫と何でも楽しみながら、仲良く過ごし、希望に満ちた年になるといいです。



卯
昭和50年生まれ

大田 健太郎さん（本渡町本戸馬場）
周囲の温かい声援のおかげで、天草マラソン大会を無事に完走できました。私もみんなを応援できるように、ゆとりを持ってがんばります。



卯
平成11年生まれ

石田 有希さん（河浦町今田）
今年の目標は、バスケットと勉強に全力で取り組むこと。バスケットは声を出し、勉強は苦手な科目が好きになるようにがんばります。



卯
大正4年生まれ

平木 シヅカさん（新和町中田）
優しい“家族”に囲まれ、毎日楽しく過ごしています。昨年生まれた10人目のひ孫の成長を楽しみに、笑顔を絶やさず暮らしていきます。

うさぎ
卯 年生まれ 大集合!
新年の抱負

新春企画として、今年の干支である卯年生まれの年男・年女の皆さんに、新年の抱負を語っていただきました。



卯
昭和2年生まれ

森 義盛さん（有明町楠南）
この年になると、健康が何よりの宝だとつくづく感じます。健康に注意しながら、ミカンづくりを生涯現役でやっていければと思います。



卯
昭和38年生まれ

五十嵐 久人さん（牛深町）
自分が育てた魚が、“^{うさぎ}兎”のように全国を飛び跳ねて、たくさんの人に“めで鯛”を届ける、そんな年に・・・。



卯
昭和62年生まれ

中井 クノさん（五和町手野）
社会人2年目！仕事はもちろん、多くの人たちとの出会い作りに励みたいと思います。1度しかないこの1年を、思い切り満喫します！



卯
昭和26年生まれ

村井 賢志さん（御所浦町御所浦）
今年還暦を迎え、産（生）まれ変わった気持で生活していきます。また、人も自然も生命力に満ちた楽しい日本になってほしいですね。



卯
昭和38年生まれ

黒川 光枝さん（栖本町河内）
周囲の皆さんのおかげで、4回目の干支を元気に迎えることができました。今後も感謝の気持ちを忘れず、充実した年を送りたいと思います。

宝島の わだ い

市青年団・栖本支部がくまもと県民文化賞を受賞 栖本

伝統を献身的に継承する姿勢を 高く評価！

12月22日、“栖本太鼓踊り”の担い手である市青年団・栖本支部が、「第21回くまもと県民文化賞（地域文化活動部門）」を受賞しました。これは、地域の文化振興に貢献する団体や個人に対して、その功績をたたえて贈られる賞で、同支部が古くから伝わるこの踊りを献身的に継承している点が、高く評価されたものです。同支部長の梅田将臣さんは、「これからもこの伝統を絶やすことなく、次の世代へしっかりとつないでいきたい」と喜びを語っていました。

なお、“栖本太鼓踊り”は県の重要無形民俗文化財にも指定されており、同支部は平成21年11月に行われた全国青年大会で2回目の最優秀賞を受賞しています。



▲11月14日に栖本諏訪神社の例大祭で奉納された栖本太鼓踊りのようす



▲小暮氏（左）の説明を熱心に聞く参加者



◀ブリのさしみに地元こけつよしの加工グループ手作りのゆずこしょうと、オリーブオイルをかけた料理

オリーブオイルのソムリエ小暮剛氏の料理講習・講演会 五和

おいしい！ 家庭で作れる“オリーブ料理”

五和まちづくり協議会主催による、オリーブオイルソムリエこけつよしの小暮剛氏を講師に迎えた料理講習会が11月20日、同21日には講演会が五和町コミュニティセンターで開かれました。料理講習会では、小暮氏が“こっば”（干しいも）や地鶏の天草大王、魚など、地元の食材を使ったオリーブ料理9品を披露。受講した加工グループなど約30人は、オリーブオイルがしょうゆやみそとの相性がよいことなどを実感していました。また、講演会では、小暮氏が「オリーブは、体内から毒素や老廃物を取り除く効果がある」と話されたほか、参加者約120人がオリーブ料理を試食。身近な家庭料理にも、簡単に使えるオリーブオイルのすばらしさを学びました。

ふるさと応援寄附金 たくさんの応援をいただきました

●寄附の状況をお知らせします

「天草市ふるさと応援寄附金」は平成20年6月に始まり、同事業への取り組みに対するご理解とご協力により、多くの応援をいただくことができました。平成22年4月1日から同年11月30日までに寄せられた寄附金は、全国各地から79人（80件）・492万9,000円の寄附をいただいています（詳細は右表をご覧ください）。寄附をいただきました皆さんはもとより、応援寄附金のPRをしていただいた市民の皆さんに心から感謝申し上げます。

●引き続き“天草ファン”募集中！

天草市は、藍より青い海や緑深い山々など豊かな自然に恵まれており、市民が安心して快適に生活できる環境づくりや産業の振興と地域間交流を図りながら、地域資源をいかしたまちづくりに取り組んでいます。

これからも、『日本の宝島“天草”』づくりへの支援として、全国各地でご活躍の皆さんからの「天草市ふるさと応援寄附金」へのご協力を引き続きお願いします。また、市民の皆さんには、この取り組みをより多くの人に知ってもらうために、市外にお住まいの親類や知人の皆さんなどへのPRにご協力をお願いします。

寄附の手続きについては、事前の申し込みが必要です。申込書は、直接電話で本庁・財政課へ請求していただくか、市のホームページから取得していただくことになります。

◆メニュー別の寄附件数と金額

- 1 “天草の宝”『地域コミュニティづくり』
・10のまちづくり協議会と51地区振興会への支援・補助 54件・418万2,000円
- 2 “天草の宝”『安心して元気に暮らせる環境づくり』
・高齢者などの体力・健康づくり事業や、安心して子どもを生み育てる環境づくり事業など 3件・10万円
- 3 “天草の宝”『将来を担う子どもづくり』
・少人数学級の推進や特別支援学級への補助教員の設置事業、学校図書館の活性化事業など 5件・12万5,000円
- 4 “天草の宝”『若者が安心して働ける産業づくり』
・企業誘致促進事業や担い手育成支援事業など 2件・4万円
- 5 “天草の宝”『拠点づくり』
・市役所本庁舎の建設事業（平成27年度をめどに建設を予定） 2件・2万2,000円
- 6 市長おまかせコース
・特に事業の指定がない場合は、市長が必要と認める事業に活用 14件・46万円

◆地方別の寄附人数と金額

地 方 名	人数	金 額
関 東	33人	265万2,000円
中 部	3人	4万円
近 畿	24人	70万2,000円
中 国	1人	1万円
四 国	1人	1万円
九州（熊本県内を除く）	9人	127万円
熊本県内	8人	24万5,000円

一回×回 ふるさと納税制度とは

ふるさと納税制度とは、「ふるさとを応援したい」「ふるさとの発展に貢献したい」と思われる皆さんが、出身地などの地方自治体（都道府県・市区町村）に寄附をした場合に、寄附金の5,000円を超える部分について、居住地の住民税（所得割）のおおむね1割を限度に、所得税と翌年度に課税される住民税から税額控除されるものです（右イメージ参照）。

なお、法人が寄附をした場合は、法人税を算定される際に、寄附金の全額を損金に算入できます。

◆ふるさと納税制度のイメージ



【問い合わせ先】本庁・財政課財政係 ☎1111内線1363



品定めをしながら大根を
引き抜いていく参加者



▶赤ちゃんの土俵入りのようす

碓石ふるさと祭り

新和

相撲や大根の詰め放題などで大にぎわい

11月28日、「第33回碓石ふるさと祭り」が碓石公民館一帯で開かれ、約500人が参加しました。催しでは、相撲場で保育園児や小学生50人による子ども相撲が行われたほか、青年団員などが奉納相撲を披露し、観客からは大きな声援が送られていました。また、手作りの化粧まわしを付けた4人の“赤ちゃんの土俵入り”では、かわいい「力士」の姿に微笑む多くの人たちもいて、相撲大会に華を添えました。

そして、碓石地区振興会が生産している、土着菌を使用した堆肥で育てた野菜の収穫祭では、一袋100円の“大根の詰め放題”に多くの来場者が参加し、大いににぎわっていました。

牛深あかね市

牛深

冬の一大イベントに多くの人出！

12月4日・5日、牛深ハイヤ大橋横の芝生広場一帯で「第21回牛深あかね市」が開催されました。同市は、牛深の自然の恵みである農水産物を多くの人にPRしようと、毎年開かれているもの。今回は2日間とも天候に恵まれ、呼び物のひとつ「タイ釣り大会」では、小学生以下の子どもたちを対象にした“ちびっこ釣り堀”を初めて実施。参加した約100人の中には、初めて釣りを体験する子どももいて、「もっと釣りたい」「思ったより重たかった」などと目を輝かせながらタイ釣りを楽しんでいました。

このほか、新鮮な魚介類や農産物の販売、牛深ハイヤ保存会や地元の中高生による牛深ハイヤ踊りの披露もあり、約27,000人の来場者でにぎわいました。



▲“ちびっこ釣り堀”で大物のタイを釣る子ども



▲にぎわいを見せた農水産物の販売コーナー

御所浦小学校「ごしょんな海まつり」

御所浦

地元の“海”を深く知ろう!!

12月8日、御所浦小学校で「ごしょんな海まつり」が開かれ、同校の児童など170人が参加しました。これは、天草地区漁業士会と同校が、海に関する学習を通して、地域のよさを見直し漁村の活性化につなげることを目的に、初めて実施したもの。この日児童たちは、漁業の現場や漁業取締船「あまくさ」を見学したほか、漁師などの指導のもと魚料理を体験。ふだんはよく目にしながらも、あまり深くは知らない御所浦の海のすばらしさを再認識していました。



▲とれたての魚を見る児童たち

「万次郎かぼちゃパイ」販売中

栖本

栖本オリジナル商品の第9弾が登場！

栖本まちづくり協議会では、昨年12月8日から、栖本オリジナル商品の第9弾となる「万次郎かぼちゃパイ」を、3月31日までの期間限定で販売しています。これは同協議会が、地元で生産されている“万次郎かぼちゃ”を有効活用しようと企画したもの。風味豊かで上品な甘さに仕上げたかぼちゃのあんを、パイ生地で包んだお菓子です。現在、栖本温泉センターなどで販売中。詳細は、同協議会事務局（栖本支所・総務振興課内）☎0963-3111へお尋ねください。



▲1個130円。贈答用の5個入り（680円）、ひまわりポテトとの詰め合わせ（10個入り1,470円）も販売。



▲真心のこもったプレゼントを手に喜びの参加者

下津浦いきいきサロン

有明

ひと足早いクリスマスプレゼント！

下津浦公民館・迫分館で、毎週編み物やリサイクルなどの自主教室を行う農協女性部の『なんでもグループ』が11月24日、下津浦いきいきサロンの参加者15人に手づくりのお菓子やバッグなどを贈りました。これは、同グループがサロンの参加者を元気づけようと実施したもの。贈り物を受け取った参加者は、「ひと足早いクリスマスがやってきた」と大喜びする中、同グループ代表の今福京さんは、「喜んでもらえて活動の励みになります。これからも仲良く元気に過ごしてほしいです」と話していました。

矢筈岳さわやか登山

本渡

さわやかな冬の登山を満喫！

12月12日、本町にそびえる矢筈岳^{やはすだけ}の山頂を目指す「矢筈岳さわやか登山」が開かれ、160人が参加しました。これは、本町地区振興会が毎年開催しているもの。コースは、平床農村公園から同岳山頂を往復する約10kmで、参加者は険しい道のりに悪戦苦闘しながらも、頂上に到着後は眼下に広がる絶景を堪能していました。このほか、春日大明神をまつた巨石“百貫様”などにチェックポイントを設けたスタンブラリー、ぜんざい、豚汁などの食事もあるまわれ、参加者は冬の登山を満喫していました。



▲“百貫様”を通過する参加者

天草ジオパーク構想推進協議会

天草ジオパーク構想が始動！

12月13日、「天草ジオパーク構想推進協議会」が発足しました。天草宝島国際交流会館ポルトで行われた同協議会は、“天草御所浦ジオパーク”の日本ジオパーク認定を受けて、天草地域全体でもジオパーク構想を推進していこうと、行政や関係機関が参加して設立されたもの。この日は、規約が承認されたほか、会長に安田市長、副会長に川端祐樹・上天草市長と田嶋章二・苓北町長を選出。その後、今後の推進の方向性について協議が行われました。



▲協議会のような様子



▲活発な意見が交わされたパネルディスカッション

天草・夕陽プロジェクト全体ワークショップ

夕陽をいかした地域づくりを目ざして

12月11日、河浦町の富津公民館で「天草・夕陽プロジェクト全体ワークショップ」が開かれ、70人が参加しました。これは、市と熊本県立大学が共同で実施している『「宝の海・夕陽」日本一づくり事業』の一環として開催されたもの。この日は、同大学の蓑茂壽太郎理事長らによる講演のほか、パネルディスカッションなどを実施。また、これまで牛深・天草・河浦の各地区で開催されたワークショップで選ばれた、夕陽スポットの投票も行われました。



▲フルマラソンに参加の1,209人がスタート



▲喜びの表情でゴールする参加者



▲沿道からは盛んな声援



▲ボランティアスタッフが大会をサポート

天草マラソン大会

自然あふれるコースを力走！

11月21日、「第5回天草マラソン大会」が本渡運動公園陸上競技場前（ハーフはゴルフ練習場横）をスタート・同競技場をフィニッシュとするコースで開催されました。この日は天候に恵まれ、県内唯一のフルマラソン（日本陸上競技連盟公認コース）とハーフマラソンに、県内外から過去最多となる2,040人（フルマラソン1,209人・ハーフマラソン831人）が参加。選手たちは、海沿いの自然あふれる天草ならではのコースを肌で感じながら、力走していました。

また、同競技場では、地元の物産販売や福引き付きもち投げなども行われ、多くの来場者でにぎわいました。

なお、大会結果は次のとおりです。

●大会結果（1位のみ。敬称略）…フルマラソン 男子・斉藤友章（宇城市）、同女子・前田淳子（上益城郡大津町）、ハーフマラソン男子・近藤寛光（宮崎県）、同女子・蛸原奈津恵（宮崎県）

新合小フェスタ

河浦

“ありがとう”の言葉であふれた1日

新合小学校で11月28日、日ごろお世話になっている地区住民を招いて、“ありがとう”をテーマに「新合小フェスタ」が開催されました。同フェスタでは、1～6年生の児童42人が、音楽・演劇・組み体操の部にわかれて演技を披露。児童たちが繰り広げる迫真の演技に、集まった観客からは大きな拍手が送られていました。このほか、保護者の手作りバザーやリサイクルバザーなども行われ、“ありがとう”の言葉であふれた1日になりました。



▲迫真の演技を披露する児童



▲作品を鑑賞する来場者

ふたえ冬の美術展「みんなのギャラリー 2010」 五和

自慢の芸術作品がずらり！

12月5日から同24日まで、「ふたえ冬の美術展『みんなのギャラリー 2010』」が五和漁村センターで開かれました。これは、二江まちづくり振興会が、芸術・文化活動の発表の場を提供しようと開催したもので、今年で2回目。会場には、絵画や書道、手芸品、ステンドグラスなどの作品がずらりと並び、来場者は力作ぞろいの品々を鑑賞していました。また、夕方からは展示物のライトアップも行われ、美術館を思わせる雰囲気を楽しむ人も見られました。

高浜歴史散策会

天草

地元の「宝」をあらためて知る

12月4日、高浜地区内の史跡などを巡る「高浜歴史散策会」が開かれ、地区住民など30人が参加しました。これは高浜公民館が、文化振興事業の一環として毎年開催しているもの。今回は、同地区の歴史に詳しい田中光徳さん（天草町）の案内で、“上田家”や“白磯旅館”、“隣峰寺”など6カ所を散策。参加者は、ふだんから目にし、なじみがある史跡の歴史に熱心に耳を傾けながら、高浜の「宝」をあらためて実感しているようでした。



▲“上田家”の前で田中さんの説明を聞く参加者



▲児童の呼びかけに笑顔で募金をする来場者

倉岳小学校の6年生が募金運動

倉岳

みんなで助け合おう！

倉岳小学校の6年生24人が11月28日、同日に行われた倉岳ふるさと祭りの会場で“赤い羽根共同募金”運動を行いました。これは同校が、社会福祉活動などに使われるこの募金運動に賛同して、毎年実施しているもの。児童たちは、農産物や文化作品の展示コーナーなど、会場内を巡りながら募金を呼びかけ、募金をした人たちの胸に赤い羽根を付けていました。参加した児童は、「募金してもらいうれしかった。大切に使ってほしい」と話していました。

16年ぶりの金賞受賞

亀場小学校（亀場町）
6年 井上昌美^{まさみ}

亀場小学校器楽部は、“感動目ざして一生懸命”を合い言葉に活動しています。1番大きな目標は、毎年10月に行われる「RKK器楽合奏コンクール」で金賞をとることです。今年度は、「弦楽セレナーデ第4楽章」という曲で出場しました。本番直前、ステージに立つと、とても緊張してドキドキしました。演奏中は何も考えず、ただ先生だけを見ていました。小さなミスはありましたが、何とか無事に演奏することができました。結果は金賞、何と16年ぶりの受賞です。6年生にとっては、最後のコンクールで最高の思い出ができて良かったです。これからも、音楽を通して多くの人に感動を伝えていきたいです。



16年ぶりの金賞受賞で喜びの皆さん

ぼくのわたしの学校部活自慢



『全力悔無』の心でがんばります！

みんなで心をつにした部活動

大楠小学校（有明町）
6年 富崎愛理^{あいり}

私たち大楠小学校ミニバスケットボール部は、4年生から6年生までの31人です。「全力悔無^{くいなし}」という文字の入ったTシャツを着て、日々の練習を全力でがんばっています。

JC&LCカップ天草郡市大会では、2日目まで勝ち上がることができました。それは、指導してくださる先生方と部員が心をつにいて、全力でプレーや応援をしたからだと思っています。

私たち6年生は3カ月後には卒業しますが、これまで先生方が教えてくださったことを、4・5年生のみんなに伝えていきたいと思います。中学校に行っても、小学校の部活動で学んだことを忘れずがんばります。

宝島の健康

よびすえ

浅見マチエさん
(牛深町・85歳)



◆毎日の楽しみは？

近所の人々と集まって話すことです。毎週金曜日には、公民館である健康教室に参加しています。また、加世浦老人会の「えびす会」に入って20年間、元ハイヤを楽しく踊っています。先日は、熊本市で披露してきました。

◆健康の秘けつは？

毎日牛深でとれた新鮮な魚をたくさん食べています。また、仲間たちと楽しい話をして笑ったり、ハイヤを踊ったりすることも健康に良いのかもしれない。



山川里子^{さとこ}さん（本渡町本渡・25歳）

（社）天草宝島観光協会に勤務していますが、いろんなことを経験してみたくて、本渡勤労青少年ホーム“だるまの会”で奉仕活動などを行ったり、天草南風凜風会^{はいやりんふうかい}ではハイヤ踊り、また、市女性消防団にも所属しています。今後も、人としてもっと成長できるようにがんばります。

心身の健全な発達と豊かな感性を養うために

苓陽幼稚園（倉岳町）

苓陽幼稚園（鶴戸継啓園長・全園児37人）は、天草最高峰の倉岳や国指定史跡・棚底城跡など豊かな自然や歴史に恵まれた、すばらしい環境下にあります。本園では、剣道やリズム体操を通して「みんなと仲良く元気に最後までやり抜こう」の活動方針のもと、地域の小・中・高校生やお年寄りとの交流、幼年消防クラブの活動のほか、今年はふるさと祭りにマーチングで参加するなど、地域との交流も深めています。

また、キッズサッカー大会にも出場し体力の向上を図るなど、さまざまな活動を実施しています。これからも、子どもたちの心身の健全な発達と、豊かな感性を養うための幼児教育を行っていきます。



倉岳ふるさと祭りで披露したマーチング



バイキングのようす

いちばん楽しみにしている“食事”

めぐみ保育園（南町）

子どもたちが保育園の生活の中でいちばん楽しみにしているのが、“食事”です。めぐみ保育園（金子慶子園長・全園児79人）では、ごはんをしっかりと食べてほしいとの思いで、毎日麦や玄米をいっしょに炊き込んだごはんを用意しています。魚料理を週に3日はメニューに取り入れています。子どもたちは予想以上に魚が好きで、特に1・2歳児クラスではとても好評です。

また、3歳以上児のクラスでは、お昼の食事はバイキング形式にし、自分の食べる量は自分で決めるようにしています。最初はどの子も好きな食べものをたくさん取っていますが、そのうち自分の適量を知っていくようです。

地域づくりコーナー

人が動く
地域が動く
天草が動く

クリシタンの歴史と

景観をいかした地域づくり

富津地区振興会（会長 増田哲也）

「放浪記」などを書いた作家の林芙美子さんが、「天草でいちばん好きだった」という崎津の町。崎津天主堂を含めた一帯の漁村風景は、天草の代表的な景観として、日本の渚百選^{さかきもも}に選ばれているほか、今年2月ごろには、国の重要な文化的景観にも選定される見込みです。また、崎津の夏を彩る「崎津みなとのフェスティバル」には、毎年多くの人が訪れにぎわいを見せます。今、富津地区では、世界遺産の登録に向けた取り組みを進めています。これは、平成19年に「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が世界遺産の国内候補に選ばれたと

き、「隣接県の同様の事例も検討が必要」との指摘を受けたことによるものです。現在は、古民家を修復し、港町独特の「カケ（網干し場）」を設けるなどの整備を行いながら、昔の町並みの復元を目指しています。今後も、クリシタンの里として知られる歴史と景観をいかした観光、さらには海産物などの販路を開拓することなどで、いっそうの地域活性化を図っていきます。



▲朝もやに包まれ幻想的な雰囲気
崎津地区の風景



きら 煌めく人^{たち}

両親の背中に魅せられた“農業後継者”

田中 誠^{まこと}さん（栖本町打田・33歳）

栖本町打田に住む田中誠さんは、実家で両親とともに葉たばこ約2・5ヘクタールのほか、米や野菜などを栽培する農業後継者だ。「土いじりが好きだったし、なにより両親の背中を見て育ったから」と田中さん。農業者を志すようになったのは、ごく自然な流れだったという。市内にある高校の園芸科学科を卒業後は、茨城県内にある農業系の専門学校に入学。同校では4年をかけて、農業に関する知識にさらに磨きをかけた。専門学校に在学中、一時は農業関係の企業に就職することも

考えたが、「農業を実践するには、若いうちから」と、実家に戻ることを決意後、就農して10年がたつ。現在、3月ごろから始まる葉たばこの苗を植えるための肥料散布や畝立て、マルチと呼ばれるビニールを畝に張る作業などに追われている。それでも、「作物のできを左右するいちばん大事な作業。手は抜けません」と田中さん。肥料散布機のハンドルを握る手にも、自然と力が入る。

一方、田中さんは実家の農業に携わるかたわら、市内の若手農業者との交流にも積極的だ。4年前には天草地方青年農業者クラブの会長を務め、農産物を直接都市部に売り込むなどの取り組みを実施。現在も青年農業者として、農業の普及・啓発に意欲的に取り組んでいる。

昨年7月には待望の子宝に恵まれ、父親となった田中さんに、「息子さんに農業を継がせますか」という問いかけに、『今度は自分が背中を見せる番ですね』と笑顔で答えてくれた。

ハッピー^{HAPPY BIRTHDAY} パースデー^{1歳になりま〜あ}



武田 翔^{しょう}くん

今釜新町
父・信也さん
母・香理さん

陸兄ちゃんいつもたくさん遊んでくれてありがとう♡



久保 妃華^{ひめか}ちゃん

久玉町
父・一寛さん
母・美栄さん

わが家の人気者です♡いつも笑顔をお願いありがとう♡



平山 大翔^{はると}くん

有明町須子
父・久人さん
母・恵理さん

歌が大好き！雅人兄ちゃんいつも遊んでくれてありがとう♡



山形 空桜^{そら}ちゃん

亀場町食場
父・真也さん
母・裕美さん

手野と瀬戸のじいちゃん、ばあちゃん、いつもありがとう♡



山並 高^{しゅう}くん

御所浦町御所浦
父・史典さん
母・潤子さん

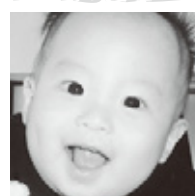
ひなこ姉ちゃん大好き☆いっぱい食べて大きくなるぞ!!



井上 くるみ^{れん}ちゃん

下浦町
父・久哉さん
母・絵里さん

お肉・お魚・ごはん、何でも大〜好き♡のん姉、まあ兄、追い越すよ。



池田 蓮^{れん}くん

牛深町
父・和智さん
母・恵さん

お外遊びが大好き！じいじ、ばあば、いつもありがとう♡



角岡 愛萌^{あいみ}ちゃん

本渡町本渡
父・真道さん
母・裕子さん

わが家の宝物♡たくさんの経験をして元気に大きくなってね。



浦部 伶音^{れん}くん

新和町大多尾
父・竜也さん
母・真衣子さん

いつもニコニコ笑顔の人気者♡じいじ、ばあばいつもありがとう♡

2月で満1歳になるお子さんを募集します！

●応募期限＝1月11日④まで（必着）。

●応募方法＝写真裏にお子さんの住所、氏名（ふりがな）、生年月日、性別、電話番号、コメント（30字以内）、保護者名（父・母）を記入し、〒

863-8631（住所記載不要）天草市役所・秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで（応募者多数の場合は抽選）とし、応募写真は返却しません。

新春特別企画

宝島クイズ

全問正解した人の中から抽選で40人に、すてきな景品をプレゼントします。皆さんのご応募をお待ちしています（応募は本市に住所がある人に限り、1人1通のみ）。

【問1】天草市は昨年4月、植樹祭を実施し「●●の島づくり」を目ざす取り組みを始めましたが、その樹木とは何でしょう？

①レモン ②オリーブ ③ポパイ

【問2】昨年7月1日オープンした「天草キリシタン館」の入館者が、同年10月17日に何人を突破したでしょう？

①5,000人 ②2万人 ③3万人

【問3】日本のすべての人と世帯を対象にし、昨年10月1日に実施された5年おきの統計調査は何でしょう？

①農業センサス ②国勢調査 ③漁業センサス

【問い合わせ先】本庁・秘書課広報広聴係（内線1208）

■景 品＝①大阪便往復航空券…1人②福岡便往復航空券…2人〔以上天草エアライン（株）提供〕③ポンカン5kg…5人〔JA本渡五和提供〕④デコボン3kg…2人⑤ポンカン5kg…3人〔JAあまくさ提供〕⑥五多幸すとらっぷ…5人〔天草ありあけ（株）提供〕⑦シモン芋製品セット…3人〔（株）くらたけ提供〕⑧アブラすましストラップ…5人⑨さつまいも…5人〔栖本まちづくり協議会提供〕⑩特産品詰め合わせ…3人〔市物産振興協会提供〕⑪Tシャツ…6人。

■応募方法＝ハガキにクイズの答え（3問とも）、住所、氏名、年齢、電話番号、市政日より天草へのご意見・ご要望を記入し、1月13日④までに、〒863-8631（住所記載不要）天草市役所・秘書課へ郵送してください。なお、当選者は2月1日号の「市政日より天草」お知らせ版に掲載します。

読者のつぶやき



小さいころ、近所にお年玉貯金をすると“くじ引き”ができる金融機関があり、お正月の楽しみのひとつでした。結局、毎回何も当たらずじまいでくやしい思いをしましたが、成人したころにその貯金を母からもらい、ありがたかったことを覚えています。

ペンネーム：貯金大好き子

わが家の畳が古くすり減り、座るとズボンにくずがついてくるようになったので、畳替えを頼みました。すると、すき間のあった畳もごとくに修復されて、プーンとい草の香りがしてりっぱな新居に入った気分へと変心。「畳と○○○は新しい方がよい」とはよく言ったものだ。

ペンネーム：せかせかおばさん



皆さんからのお便りを募集しています！

身近であったできごとや、季節に思いをはせることなど、ぜひご応募ください。原稿は100字程度で、応募者多数の場合は選考のうえ掲載します。

※表記などを統一するため、趣旨を変えず文章を直すこともあります。

▶応募期限＝1月11日④まで（必着）。

▶応募方法＝寄稿文をまとめたものに、ペンネームと住所、氏名、性別、電話番号を記入し、〒863-8631（住所記載不要）天草市役所・秘書課へ郵送または持参してください。



～体も心も温まる「押し包丁(だご汁)」～

材 料 (約4人分)

だし汁……………いりこ20g
水3カップ
小麦粉……………180g
大根・にんじん・
ごぼう・ちくわ……各40g
里いも……………60g
油あげ……………10g
こんにゃく…………60g
干しいたけ…………2g
小ねぎ……………15g
塩……………2.5g
薄口しょうゆ…小さじ1杯
みりん……………小さじ1杯

作 り 方

- ①大根・にんじん・里いもはいちょう切りにし、里いもは塩をふりぬめりをとる。干しいたけはもどして千切り、ごぼうはさがきに、アク抜きをする。こんにゃくは薄切り、油あげは油抜きして短冊に切り、ちくわは半月切りにする。
- ②小麦粉に水を加えながらこねる。生地がまとまったら、打ち粉をしてめん棒で伸ばす。折りたたんで、端から食べやすい幅に切っておく。
- ③だし汁に①の材料を加え、塩・薄口しょうゆ・みりんを味を整える。
- ④③のだし汁に②を入れ、生地が煮えたら小口切りにした小ねぎを散らす。

押し包丁(だご汁)は、有明で昔から親しまれている家庭料理で、小麦粉を練った生地と野菜などをいっしょに煮込んだ、しょうゆ(みそ)仕立ての汁です。具たくさんで腹持ちも良く、エネルギー補給には最適。

寒い冬を元気に乗り切るために、体も心も温まる「押し包丁」を、皆さんぜひご賞味ください。

提供：市食生活改善推進員協議会



天草コレジヨ館開館20周年・
天草キリシタン館オープン記念シリーズ⑤

禁教の時代 ～天草崩れ～

天草・島原の乱が終結したあと、天草は江戸幕府の直轄地である天領となり、全国的な禁教政策のもとでキリシタンへの取り締まりはさらに強化されました。このような中、乱から164年後の文化2(1805)年、“天草崩れ”と呼ばれる潜伏キリシタン発覚事件が起きます。これは当時、牛や馬を殺すことが禁じられている中、牛殺しのうわさが発端となって発覚したものです。

この事件の結果、大江・崎津・今富・高浜の各村において、人口の約半分に当たる5,205人が摘発されました。本来、キリシタンは処刑されてしまいましたが、彼らはオラショ(祈りの言葉)を唱え、マリア観音や銭仏を礼拝するという独特の信仰形態をとっていたことを理由に、キリスト教ではなく異宗を信仰した「心得違」として、処刑はされませんでした。

その後、表向きは全員改宗しますが、水面下では潜伏キリシタンとしての信仰が守られ、明治時代へと至ります。



▲礼拝の対象となった
マリア観音像(天草
キリシタン館所蔵)

新年おめでとうござい
す。年始の過ごし方といえ
ば、もっぱら家でござい
ます。ただ、ここ数年は
嘔吐下痢症、インフルエンザ
と、いずれもやまに倒れて
寝込む正月に…。今年こ
の計は元日にあり。今年こ
そは、元気で幸先のよい幕
明けにしたいものです。【素

あけましておめでとうござ
います。毎年、新年の抱負を
たてます。生涯の登場回数No
1は、「今日できることは、
今日やる」。いやなことは後
回しにして最後に泣きを見る
タイプで、達成したためし
がないので、今年も同じ抱負で
一年いきます。なぜか今年
はできそうな気がします。【海

謹賀新年。最近、年のせい
が毎朝髪の毛のようすが変化
しています。ちゅじゅがん
げやまつすんかゝときがあ
り、髪型が毎日違っているよ
うです。性格はまつすんかと
思っているのですが。まあ、
そがん品のよか男でもなか
うていくしかなかな。【凡

